

台湾における 高病原性鳥インフルエンザの流行について

裏面のとおり、本年1月以降台湾で本病が大流行しています。

大陸からの冬鳥の渡りのシーズンは終盤となりますが、これからは台湾からの夏鳥（ツバメ等）の渡りがはじまるため、春先以降も本病ウイルスが国内に侵入してくる可能性があります。

については、引き続き、異常鶏を発見した際の早期通報、野鳥・ねずみ等の野生動物対策等、緊張感をもってご対応をお願いします。

●異常鶏を発見した際の早期通報

・次のような特定症状が見られた場合は、直ちに家畜保健衛生所にご連絡ください。

同一の家きん舎内で、1日の家きんの死亡率が、過去21日間の平均した死亡率の2倍以上となった場合

※ただし、設備の故障、気温の急激な変化、火災、風水害その他の非常災害等高病原性鳥インフルエンザ以外の事情によるものであることが明らかな場合は、除きます。

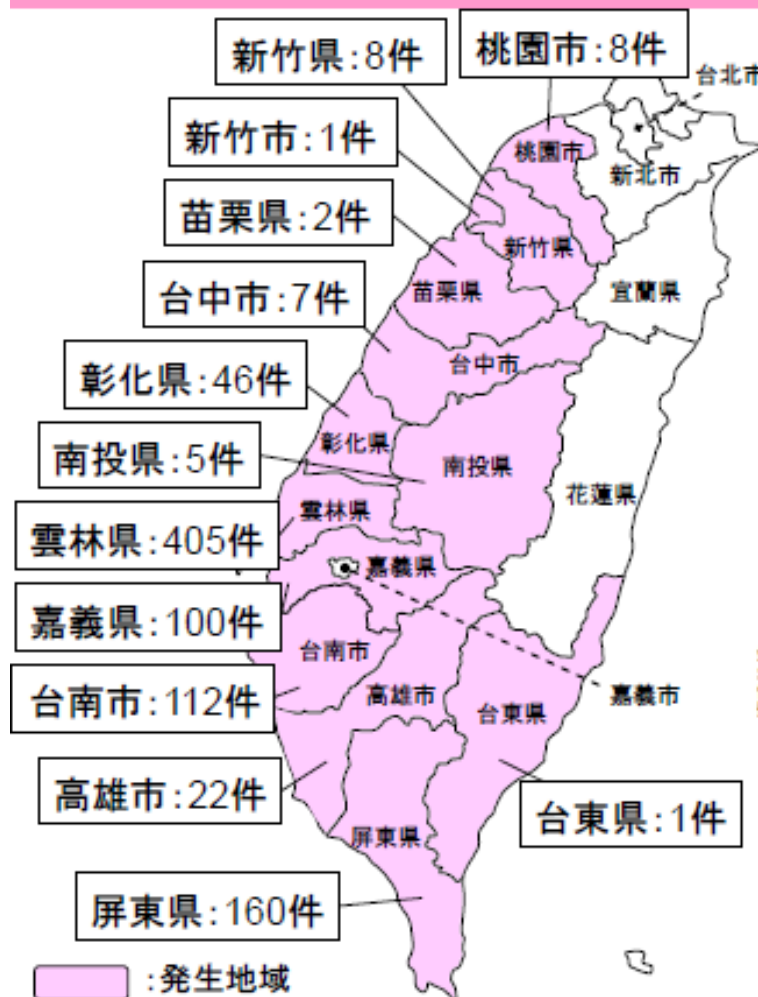


・下記のような感染の疑いを否定できない場合も、ご連絡ください。

- ①鶏冠、肉垂等のチアノーゼ、沈うつ、産卵率の低下等の症状を呈している家きんがいる場合
- ②5羽以上の家きんが、まとまって死亡している又はまとまってうずくまっている場合



台湾における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2015年1月~)



合計: 877件※(農場・処理場・保留場)

血清型
 ・H5N2* ・H5N2/H5N8混合感染
 ・H5N3 ・H5N2/H5N3混合感染
 ・H5N8 ・H5**

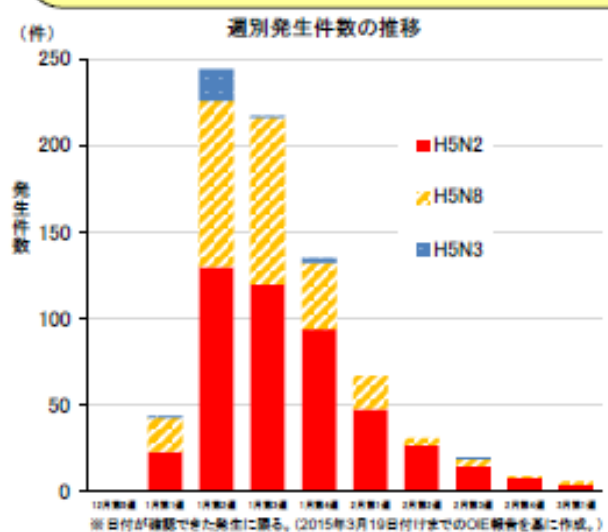
※発生件数の血清型別の内訳は未確定

*過去に台湾で検出されたウイルスによる感染及び過去に台湾で検出されたウイルスとの混合感染を含む
 ** N亜型・病原性未確定

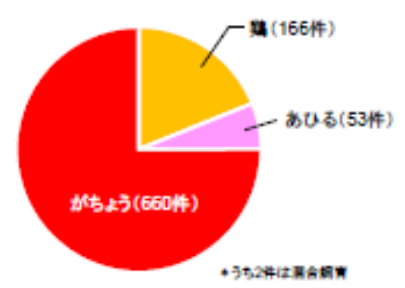
殺処分完了: 874件(440万4,379羽)

○野鳥における検出(8件)

確定日	場所	亜型	鳥種
3/16	高雄市高屏溪	H5	不明
3/1	台南市安南区	H5	クロツラヘラサギ
2/1	台南市七股区	H5	クロツラヘラサギ
1/30	台東県台東市	H5N2	ゴイサギ
1/19	屏東県長治郷	H5	ツグミ
1/18	苗栗県竹南鎮	H5N3	シロガシラ(3羽)



家さんの種別確認件数(879件・)



台湾における種別飼養状況

	鶏	あひる	がちよう
飼養戸数	5,798	2,816	971
飼養羽数(万羽)	9,213	962	177

※2015年1月15日の台湾農務公報資料を基に作成

注: ・本図のH5N2及びH5N3亜型ウイルスは、過去に台湾で確認されたウイルスと異なり、これらウイルスのH5遺伝子は韓国製のH5N8亜型ウイルスのH5遺伝子と近縁。
 ・以下については、本図に記載していない。

- ①1月6日屏東県の採卵鶏農場で発生した従来型(1件)。
- ②発生農場の半径1km以内の家さん農場におけるサーベイランスの結果、26農場でH5亜型のウイルスを検出。

出典: 台湾行政院農業委員会動植物防疫檢疫局、OIE

2015年3月19日18時現在